

#### 4-4 伊豆諸島の地殻変動

#### Crustal Movements in the Izu Islands

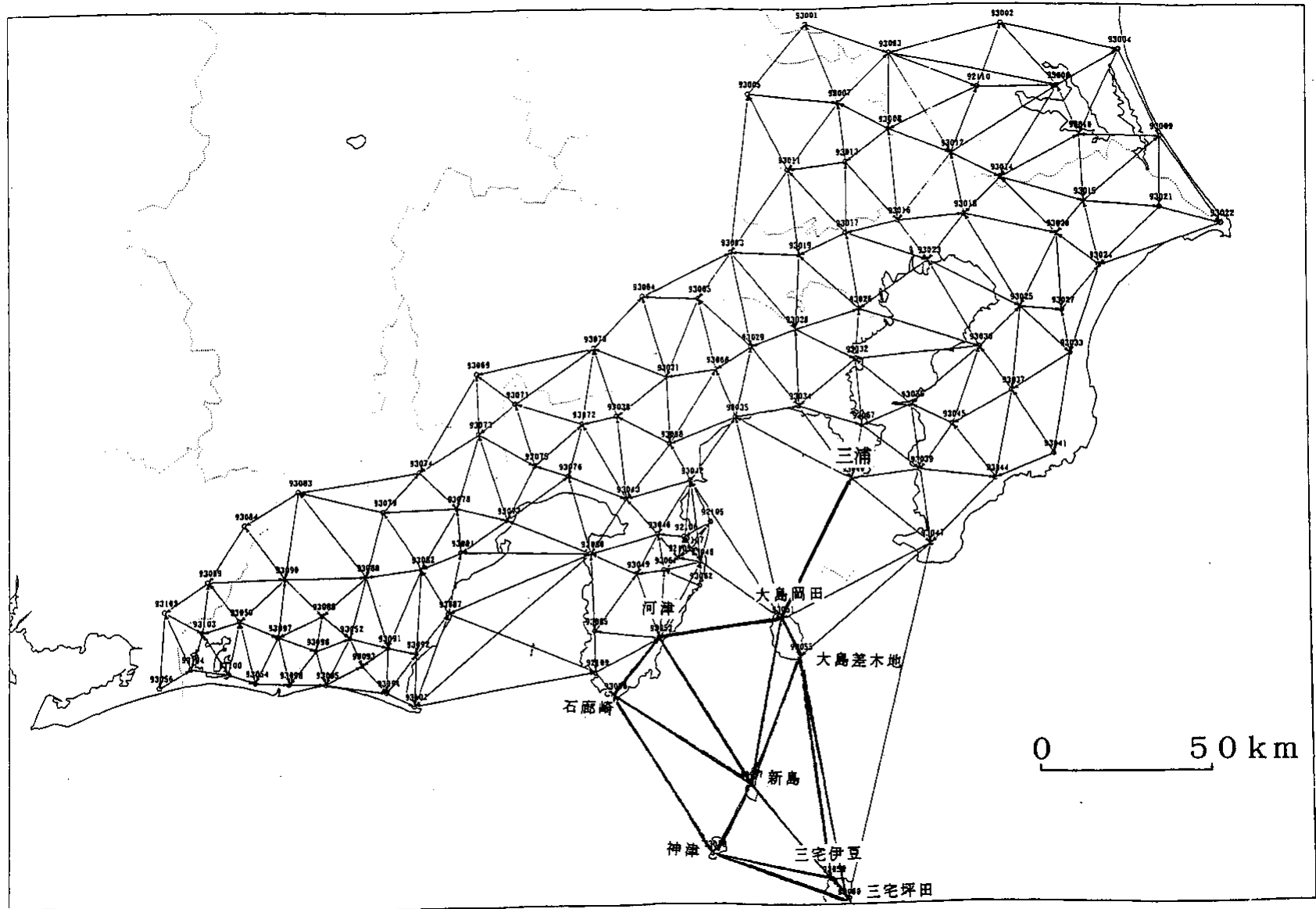
国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図～第2図は、南関東・東海GPS連続観測のデータの内、大島及び新島周辺の各点間の基線長及び比高である。大島岡田～大島差木地、新島～神津及び三宅坪田～三宅伊豆の基線長の伸びが依然続いている。新島～神津の比高には神津の隆起が見られ、群発地震に関連した地殻変動が続いていると考えられる。

第3図は、岡田と周辺各験潮場間の月平均潮位差である。岡田が1990年頃に隆起し、以降変動が停滞している。

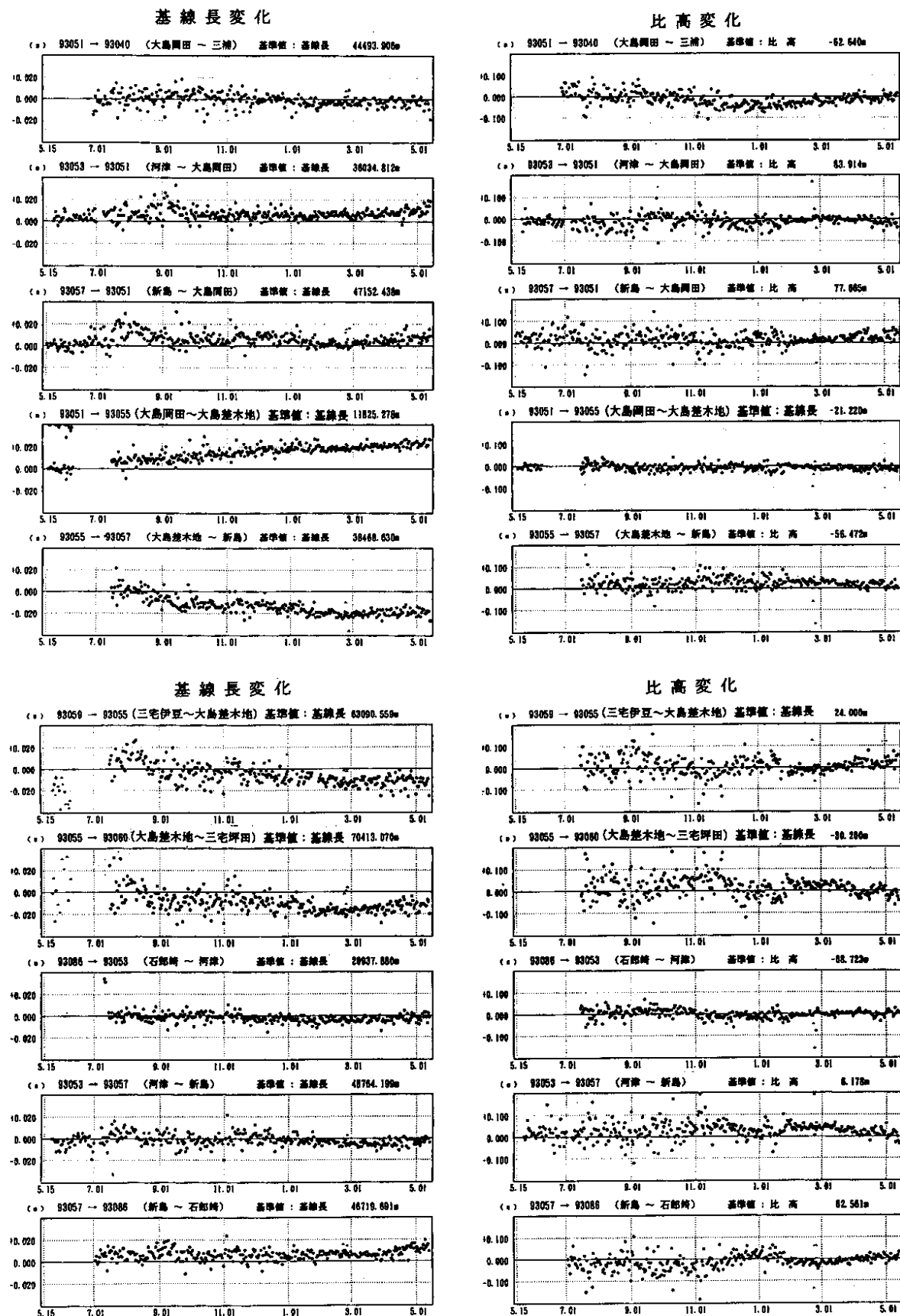
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：関東地方の地殻変動，連絡会報，**49**（1993），163-168.
- 2) 国土地理院：伊豆大島の上下変動，連絡会報，**50**（1993），311-315.
- 3) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，**51**（1994），401-403.
- 4) 国土地理院：伊豆諸島の地殻変動，連絡会報，**52**（1994），258-271.
- 5) 国土地理院：伊豆諸島の地殻変動，連絡会報，**53**（1995），376-383.



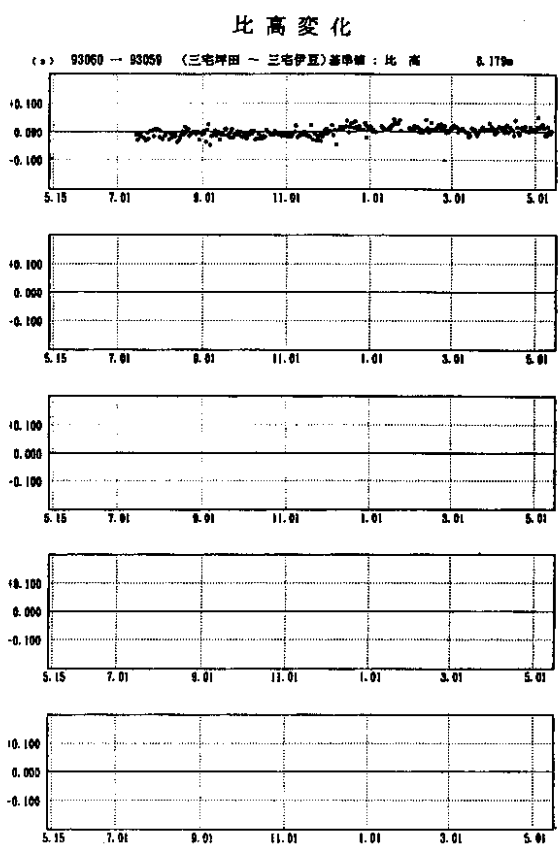
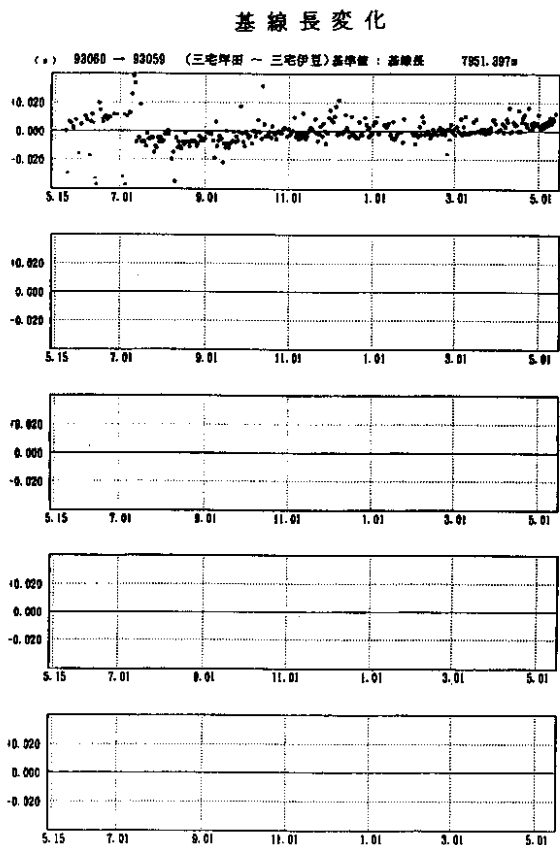
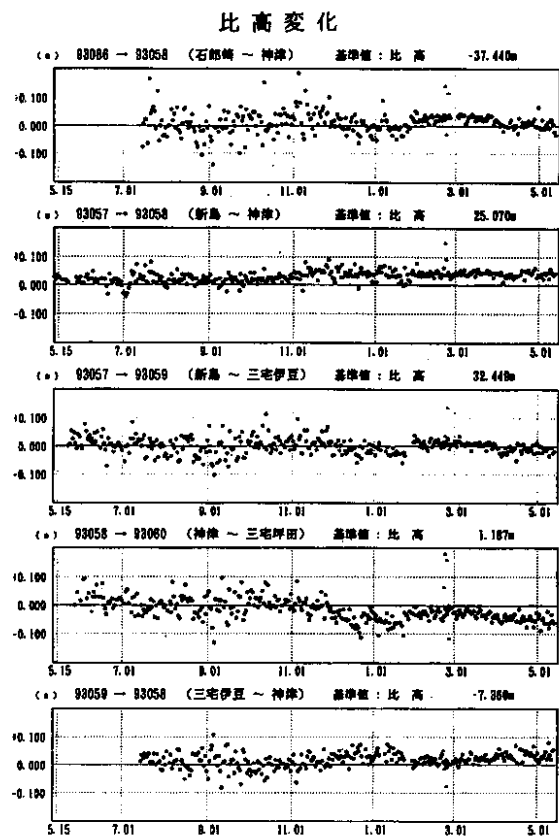
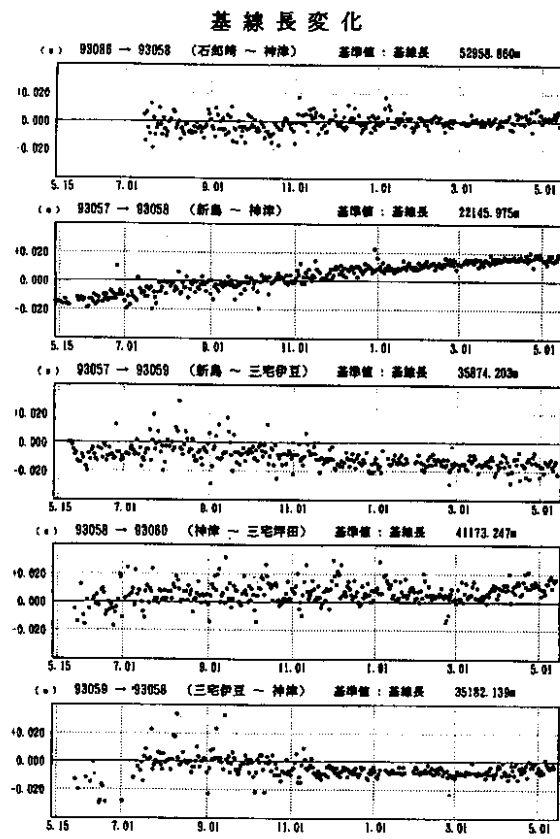
第1図 南関東・東海GPS連続観測網観測点配置図

Fig. 1 Location map of the continuous GPS observation stations in Southern Kanto and Tokai areas.

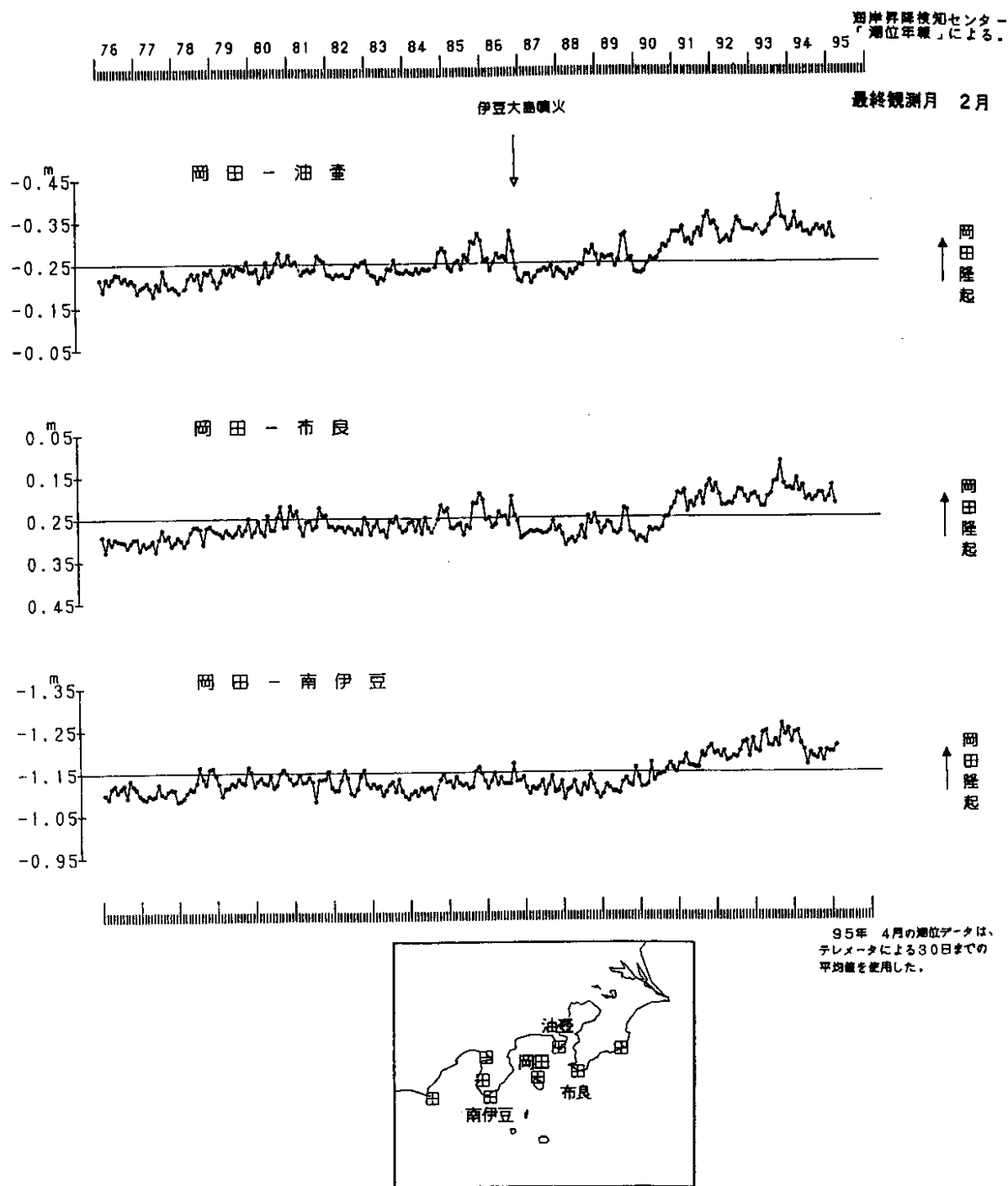


第2図 伊豆半島及び伊豆諸島の各観測点間の距離及び比高変化

Fig. 2 Distance height difference changes between stations in the Izu peninsula and Izu islands.



第2図 つづき  
Fig.2 (Continued)



第3図 岡田・油壺・布良・南伊豆各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 3 Differences in monthly mean sea levels between Okada, Aburatsubo, Mera and Minami-Izu tide stations.